



第 112 期

株主通信

2012.4.1 ▶ 2013.3.31



富士急行株式会社

証券コード：9010

世界初“リサとガスパール”のテーマパーク

リサとガスパール タウン

今夏、富士急ハイランドにオープン!



ごあいさつ



株主のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第112期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向が見られ、期後半の政権交代後は、金融及び経済政策への期待の高まりから円高の是正や株価の持ち直しの動きなど明るい兆しが見えはじめました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当期営業収益は447億3百万円(対前期101.7%)、当期経常利益は25億62百万円(対前期139.8%)、当期純利益は12億89百万円(対前期161.3%)となりました。当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご覧くださいますようお願い申し上げます。

今後につきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、政権交代による景気回復への期待感はあるものの、電力、ガス料金の値上げや軽油価格、原材料価格の高騰など、先行き不透明な状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中で当社グループは、運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業で、富士山の世界文化遺産登録に即応した積極的な営業施策を展開し、需要の喚起を図ってまいります。

運輸事業につきましては、引き続き運輸安全マネジメントを実践し、安全の確保に鋭意努めてまいります。鉄道事業では、JR東日本と連携し、富士登山や富士山観光に便利な直通列車の運行、外国人観光客向け商品の造成などとともに、観光鉄道化を一層推進するため、魅力ある列車の運行や個性ある駅舎への改修を行い、利用者の誘致を図ってまいります。

バス事業の乗合バス営業では、関係自治体と連携を図りながら既存路線を見直し、新たな交通ネットワークを構築するとともに、高速バス営業では、富士五湖方面等利用者拡大が見込まれる地域への路線の増強、見直しを進めてまいります。貸切バス営業では、市場環境の急激な変化に対応するため、引き続き営業体制の再構築に最優先で取り組んでまいります。また、水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」の2号車を導入し、販売促進に取り組んでまいります。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地、十里木高原別荘地でオリジナル商品の企画、販売を継続するとともに、当社グループ施設との連携を強化し、別荘地エリアの付加価値向上を図ってまいります。また、社有地を有効活用した新規賃貸にも引き続き取り組んでまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、今夏、「富士急ハイランド」入園口に隣接して、フランス生まれの人気キャラクター「リサとガスパール」の世界初となるテーマパーク「リサとガスパール タウン」を新設し、富士急ハイランドのみならず富士山と富士五湖地域を訪れる観光客を取り込むなど、新たな客層の開拓と施設の充実を図ってまいります。

当社グループは、5月に策定した「第三次中期経営計画」の「ポートフォリオマネジメント戦略」「エリア戦略」を引き続き推進し、インバウンド市場の成長、Web環境やネットビジネスの拡大、さらには新東名高速道路や圏央道開通など事業を取り巻く環境の変化に適確に対応した積極的な営業活動を進め、企業価値の増大を目指してまいります。

また、「120%の安全」をグループの最優先課題と位置付け、引き続き徹底した安全管理に努めるとともに、地震など自然災害が発生した場合に事業資産の損害を最小限にとどめ、かつ事業の継続と早期復旧の実現を目的として平成25年4月に策定した事業継続計画(BCP)を遂行するため、必要な対策を着実に進めてまいります。

さらに、高齢者雇用安定法の一部改正、バスの交代運転士配置基準見直しによる労働条件の厳格化、平成26年4月から予定されている消費増税など関係法令等の動向を常に注視し、適切に対応してまいります。

当社グループは、「夢・喜び・快適・やすらぎ・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

- 新東名高速道路 NEOPASA駿河湾沼津に、当社グループ初となる高速道路の飲食施設「**レストラン ソラノテラス**」、**「リサとガスパールカフェ**」をオープン

レストラン ソラノテラス



リサとガスパールカフェ



- 世界に誇る富士山とその周辺エリアの多彩な魅力を発信し、より多くの方々に季節ごとの富士山を360度楽しんで頂くための情報サイト「**フジヤマNAVI**」を開設



- 富士急グループ施設への更なる訪日観光客誘致の拡大を図るため、台湾の台北市に、「**台北駐在員事務所**」を開設



8月

7月

6月

5月

4月

- 富士急ハイランドに脱出迷宮アトラクション「**絶望要塞**」、かいけつゾロリのテーマアトラクション「**かいけつゾロリのぼうけんランド**」をオープン



絶望要塞



©原ゆたか/ボブラ社

かいけつゾロリのぼうけんランド

- さがみ湖リゾート プレジャーフォレストに複層型巨大迷路アトラクション、立体迷路「**カラクリ砦**」をオープン



- 富士急ハイランド アイススケートリンクに、初心者でも気軽にスケートを楽しめる
「新型二枚刃スケート靴」登場



- 富士急グループ初となる東京と岩手を結ぶ夜行バス
「岩手きずな号」の運行開始



9月

- 富士山麓地域に、環境に配慮した
「EVタクシー（電気自動車）」を4両導入



10月

11月

12月

1月

2月

3月

- さがみ湖リゾートプレジャーフォレストに、日帰り温浴施設
「さがみ湖温泉 うるり」をオープン



1 富士山と山中湖を楽しむのりもの 水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」 に新型車両 登場！



KABA2

陸上走行からそのまま山中湖にダイビングする豪快さと楽しいストーリー仕立てのツアーが好評の水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」が、平成25年4月26日（金）より、2両目となる新型車両を運行開始しました！

PICK UP

「YAMANAKAKO NO KABA」は、富士山と山中湖の自然を楽しむための仕掛けが随所に施されています。

- KABAの名に相応しいフォルムは湖上での安定した航行を実現し、快適なクルージングをお楽しみいただけます。
- 屋根と客席の窓は透明なビニール製で、窓を開け放てば湖上の風を感じながら雄大な富士の絶景を愛でることができます。
- 2号車は客席数が40席となり、団体のお客様でもご利用しやすくなります。
- アテンダントとナビゲーターのKABAが繰り広げるミステリーツアーも新たなストーリーを加え、富士山と山中湖のさらなる謎に迫ります！



相模湖の森に湧く美肌の湯 「さがみ湖温泉 うるり」オープン!

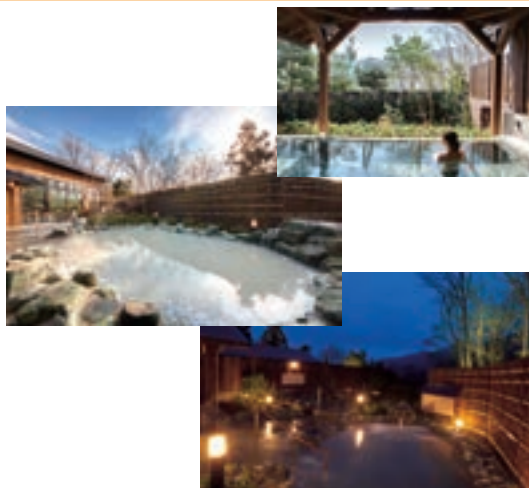


神奈川県相模原市で展開するアミューズメント施設「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に約9億円を投資し、日帰り温浴施設『さがみ湖温泉 うるり』を平成25年3月15日（金）に開業いたしました。

PICK UP

美肌効果のある天然温泉と日帰り温浴施設

- 温浴棟には、血流促進効果がある人工炭酸泉風呂、ジェット風呂、開放感のある露天風呂など、多様な風呂が揃います。露天風呂には、石老山の借景を楽しめる展望風呂や湯すずみテラスもあり、入浴と森林浴による二重の癒しをお楽しみいただけます。その他、源泉岩風呂や寝ころび湯に加え、高温サウナや塩サウナ（女性のみ）等もあります。尚、敷地内から湧き出る源泉は、美肌効果のあるpH値9.6のアルカリ性温泉です。
- どこにいても自然を感じられるようレイアウトされた休憩棟は、食事処や休憩処、岩盤浴、整体マッサージ等が入り、一日ゆったりとお過ごしいただくことができます。特に、女性専用を含め21床ある岩盤浴は、専用のリラクゼーションルームやクール室もあり、快適な環境でお楽しみ頂くことができます。



世界初“リサとガスパール”のテーマパーク 「リサとガスパール タウン」 今夏、富士急ハイランドにオープン!



Gaspard et Lisa

富士急ハイランドに、フランス生まれの人気キャラクター「リサとガスパール」のテーマパーク「リサとガスパール タウン」を開業いたします。

リサとガスパールの絵本の舞台となるパリの街並みを再現したテーマエリアとなっており、アトラクションや飲食店・ショップを展開する子供から大人まで楽しめる施設です。

©2013 Anne Gutman & Georg Hallensleben / Hachette Livre

PICK UP

絵本の舞台となるパリの街並みを再現したこの「リサとガスパール タウン」には、シンボルのエッフェル塔をはじめ、焼きたてのパンやクッキー、クレープが楽しめるカフェやクレープ屋さんなどの飲食店、リサとガスパールグッズやフランスを思わせるおしゃれな雑貨を扱うショップが軒を連ねます。ショップ2階には、原画などを展示したミュージアムがあり、貴重なリサとガスパールの作品もご覧いただけます。



さらに、リサとガスパールの絵本の世界をめぐるゴーカートや実際にパリにある二層式メリーゴーラウンドがこの雰囲気ある街並みに活気と華やかさを加えます。

クレープを片手に石畳のメインストリートを歩けば、子供から大人までリサとガスパールと一緒に優雅なパリの街を散策するような特別なひとときをお楽しみいただけます。また夜には、イルミネーションがタウン内を彩り、幻想的な世界を演出します。



■ 「Gaspard et Lisa」(リサとガスパール)

パリに住む、白いからだに赤いマフラーを巻いた女の子「リサ」と、黒いからだに青いマフラーを巻いた男の子「ガスパール」が主人公の物語。

4

日本最多8つの迷路を完全制覇せよ！

さがみ湖リゾート「迷路百貨店」

計画始動



神奈川県相模原市で展開するアミューズメント施設「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」に2013年7月、日本最多8つの迷路からなる「迷路百貨店」が誕生いたします。

(※自社調べ)

PICK UP

“頭と身体を使って遊ぶ遊園地”を追求する「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」の、「ピカソのタマゴ」、「天狗道場」に続く新たなメインアクティビティ「迷路百貨店」にどうぞご期待下さい!!!

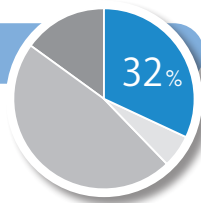
「迷路百貨店」とは、8つの仕様・難易度の異なるバラエティに富んだ迷路群の総称で、昨夏オープンした立体迷路「カラクリ砦」をはじめとする既存の4つの迷路に加え、この夏新たに誕生する4つの迷路で構成されます。これは、単一の施設内に存在する迷路の数としては日本最多となり、8つを合わせた延べ床総面積は約4,700㎡にも及びます。方向感覚を失わせる六角形の空間が延々と続く迷路や、ずぶ濡れになること必至の水の迷路、広大なとうもろこし畑をかきわけて進む迷路などが新たに誕生し、子どもから大人まで、幅広くお楽しみいただくことができます。また、既存の迷路もさらなる進化を遂げ、ますます挑戦心を掻き立てます。

尚、8つの迷路の制覇を目指すスタンプラリーも展開し、見事すべて制覇したゲストには、迷路マスターとして認定証を授与する予定です。

事業別概況（連結）



運輸事業



鉄道事業につきましては、観光電車「富士登山電車」の平日運転本数の1往復増発、フジサン特急の運転時刻の見直し、JR東日本と連携した直通列車の新規設定や運転区間の延長など、富士北麓エリアへの集客に努めました。また、河口湖畔の天上山公園カチカチ山ロープウェイでは、山頂展望台の「ためき茶屋」で積極的な販売活動を展開し、増収に努めました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、12月に株式会社フジエクスプレスで、渋谷駅ハチ公口にバス停を新設し、新規路線として南平台・青葉台地区循環バス及び大和田地区循環バスの運行を開始するなど、事業エリアの拡大に努めました。

高速バス営業につきましては、夏期及び年末年始の繁忙期等に、富士急山梨バス株式会社に「名古屋～富士五湖線」の夜行便運行や、「大阪・京都～富士五湖線」で3列シート車両に加え、4列シート車両を使用した「ライト便」を運行するなど富士五湖発着路線のアクセス強化と利便性の向上に努めました。12月に発生した中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故により、一部高速バス路線で利用者が減少しましたが、富士急平和観光株式会社で「新宿～甲府線」の期間限定割引回数券の発売や学生割引キャンペーン等を行い、需要の回復に努めました。また、平成25年3月には株式会社フジエクスプレスで、当社グループ初の東北地方への高速バス路線として東京と岩手を結ぶ夜行バス「岩手きずな号」の運行を開始し、高速バス営業の拡大を図りました。本路線においては、7月からスタートした新たな高速バス運賃制度のもと、運賃が季節や曜日によって変動する幅運賃制を、高速バス業界で初めて導入しました。

貸切バス営業につきましては、富士急ハイランドやスノータウンYetiへの会員募集型直行バスを運行するなど、新規顧客の掘り起こしに努めました。

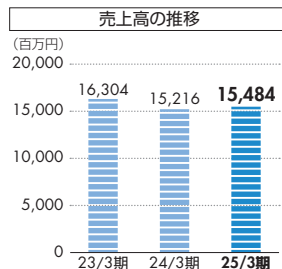
また、バス事業健全化の一環として、4月に河口湖営業所を廃止し富士急山梨バス株式会社に統合するなど、運行効率の改善によるコスト競争力の強化を図りました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、10月に富士急山梨ハイヤー株式会社、富士急伊豆タクシー株式会社、石川タクシー富士株式会社で、スマートフォンを利用したタクシー配車アプリのサービスを開始し、利便性の向上に努めました。また、富士急山梨ハイヤー株式会社では電気自動車（EV）を4両導入し、CO₂削減に取り組みました。

運輸事業につきましては、安全管理体制の構築、安全意識の浸透を継続的に図ることを目的とした運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で安全目標、重点施策を設定するとともに、安全性に優れた6000系鉄道車両の導入や駅ホームの縁端タイルの色を変更して利用者の転落防止を図るなど、より一層安全で快適な輸送の実現に取り組みました。

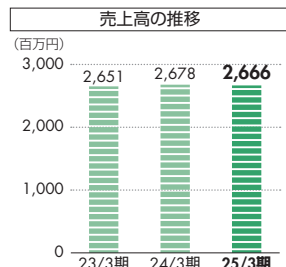
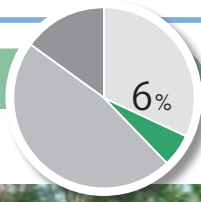
また、5月に各事業所に分散していた鉄道・バスの予約受付や案内業務を一元化し、富士山周辺の魅力や観光情報もあわせて発信する「富士急コールセンター」を新設し、お客様の利便性の向上と業務の生産性向上を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は154億84百万円（対前期101.8%）となりました。



観光電車「富士登山電車」

不動産事業



不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で趣味・嗜好を追求できる『コンセプト・ヴィラ』シリーズに「ガレージハウス山中湖 F」や「マウントビューテラス山中湖」を新商品として加え、需要の喚起に努めました。また、快適な別荘ライフを提供するため、季節ごとに開催している各種イベントの充実を図りました。

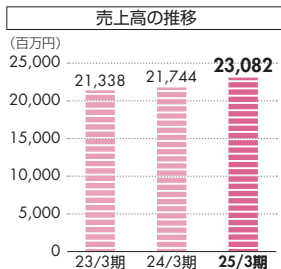
不動産賃貸事業につきましては、甲府市、富士吉田市などにおいて外食チェーン店へ、都留市ではホテルチェーン店へ、それぞれ建物を建築し賃貸するなど、収益の向上に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は26億66百万円（対前期99.5%）となりました。



ガレージハウス山中湖 F
※イメージ

レジャー・サービス事業



©原ゆたか/ポプラ社
かいけつゾロリのぼうけんランド



脱出迷宮アトラクション「絶望要塞」

遊園地事業につきましては、7月に「富士急ハイランド」でポプラ社から刊行されている「かいけつゾロリ」シリーズとコラボレーションした「かいけつゾロリのぼうけんランド」や、脱出迷宮アトラクション「絶望要塞」をオープンし、増収に努めました。また、10月にはアイススケートリンクのオープンにあわせ、アイススケート人口の底辺拡大を目的に、気軽に安心して滑ることができる「二枚刃スケート靴」を導入し、大きな話題を集めました。さらに、「街コン」にエンターテインメント要素を盛り込んだ「フジコン」の開催や、12月にはボウリング場を中心としたスポーツアミューズメント施設「Q-BOWL」を開業し、集客に努めました。

富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に空中アスレチック「ワイヤーマウンテン」の営業を開始しました。さらに、10月にはスノータウン「Yeti」を14年連続で日本一早くオープンし、12月からは首都圏からの会員募集型直行バスを運行し、集客に努めました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、7月に空中アスレチック「天狗道場」、立体迷路「カラクリ砦」、11月にLED照明を300万球から400万球にスケールアップした関東最大級のイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」、12月には園内やイルミネーションの眺望を楽しみながら食事ができる「ワイルドダイニング」をそれぞれオープンし、増収に努めました。また、平成25年3月には入浴と森林浴で二重の癒しをお楽しみいただける「さがみ湖温泉 うるり」をオープンしました。

ホテル事業につきましては、7月に「ハイランドリゾート ホテル&スパ」でトーマスルーム2室を新設したほか、平成25年3月にはマルチカラオケ「Q-Studio」をオープンし、一層のホテルのエンターテインメント化を図りました。また、「熱海シーサイド・スパ&リゾート」では、12月に客室の一部をリニューアルし、集客に努めました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、「富士本栖湖リゾート」で「富士芝桜まつり」の特別鑑賞会を4月下旬から5月下旬まで開催し、約19万人のお客様にご来場いただきました。

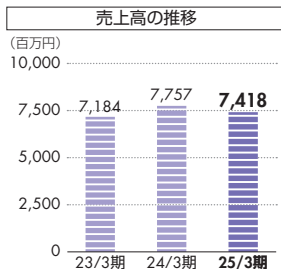
また、4月に新東名高速道路 NEOPASA駿河湾沼津で当社グループ初となる高速道路の飲食施設「レストラン ソラノテラス」、「リサとガスパールカフェ」をオープンし、事業の拡大を図りました。

さらに、富士山エリアの一層のグローバル化が見込まれる世界文化遺産登録を見据えて6月に情報発信と完全ガイド機能を有したWebサイト「フジヤマNAVI」を開設し、利便性の向上と集客に努めました。また、8月に上海に次いで海外二つ目のセールス拠点となる駐在員事務所を台北に設立し、訪日観光客の誘致に努めました。

以上の結果、ゴルフ場事業を含めたレジャー・サービス事業の営業収益は230億82百万円(対前期106.2%)となりました。

47%

その他事業



株式会社レゾナント・システムズでは、国土交通省認定デジタルタコグラフ一体型ドライブレコーダーや音声合成放送装置などの交通機器販売が順調に推移しました。

一方、富士急建設株式会社では、民間工事の受注減等により、株式会社富士急ビジネスサポートでは、製造業への派遣人員の減少等により収益が伸び悩みました。

以上の結果、その他事業の営業収益は74億18百万円(対前期95.6%)となりました。

15%



国土交通省認定
デジタルタコグラフ一体型ドライブレコーダー



連結貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	24,623	23,896	流動負債	31,523	22,561
現金及び預金	11,059	10,302	支払手形及び買掛金	2,089	2,263
受取手形及び売掛金	2,790	2,654	短期借入金	23,205	15,288
たな卸資産	9,663	9,681	賞与引当金	412	392
その他	1,110	1,258	その他	5,815	4,616
固定資産	65,257	63,752	固定負債	40,573	48,593
有形固定資産	55,297	54,541	長期借入金	31,657	39,576
建物及び構築物	27,753	26,152	退職給付引当金	999	1,037
機械装置及び運搬具	5,205	5,831	その他	7,916	7,978
土地	16,243	16,435	負債合計	72,097	71,154
建設仮勘定	798	825	(純資産の部)		
その他	5,297	5,297	株主資本	16,729	15,934
無形固定資産	3,085	3,047	資本金	9,126	9,126
投資その他の資産	6,875	6,162	資本剰余金	3,415	3,417
投資有価証券	5,028	4,287	利益剰余金	5,679	4,918
その他	1,846	1,875	自己株式	△1,491	△1,528
資産合計	89,881	87,649	その他の包括利益累計額	410	△29
			その他有価証券評価差額金	410	△29
			少数株主持分	644	589
			純資産合計	17,784	16,494
			負債純資産合計	89,881	87,649

連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業収益		44,703	43,971
営業費		41,273	41,150
営業利益		3,430	2,821
営業外収益		281	266
営業外費用		1,150	1,255
経常利益		2,562	1,832
特別利益		823	701
特別損失		1,096	912
税金等調整前当期純利益		2,289	1,621
法人税、住民税及び事業税		923	354
法人税等調整額		20	421
少数株主損益調整前当期純利益		1,346	845
少数株主利益		56	45
当期純利益		1,289	799

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,132	6,477
税金等調整前当期純利益		2,289	1,621
減価償却費		4,926	4,907
その他損益等調整額		1,076	1,177
資産・負債の増減額		38	133
小計		8,331	7,840
利息の支払額等		△1,199	△1,362
投資活動によるキャッシュ・フロー		△5,045	△3,278
有形固定資産の取得による支出		△5,558	△3,810
その他		513	531
財務活動によるキャッシュ・フロー		△1,325	△1,778
借入金の増減額		△2	△1,253
その他		△1,322	△524
現金及び現金同等物の増減額		762	1,420
現金及び現金同等物の期首残高		10,225	8,805
現金及び現金同等物の期末残高		10,988	10,225

連結株主資本等変動計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
当期首残高	9,126	3,417	4,918	△1,528	15,934	△29	589	16,494
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△529		△529			△529
当期純利益			1,289		1,289			1,289
自己株式の取得				△18	△18			△18
自己株式の処分		△1		55	53			53
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						439	54	494
連結会計年度中の変動額合計	—	△1	760	37	795	439	54	1,289
当期末残高	9,126	3,415	5,679	△1,491	16,729	410	644	17,784

単独財務諸表



貸借対照表（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第112期 (平成25年3月31日現在)	第111期 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産		22,003	20,812
現金及び預金		9,952	8,844
未収運賃		447	585
未収金		1,319	1,139
たな卸資産		8,484	8,460
その他の流動資産		1,799	1,782
固定資産		57,802	56,319
鉄道事業固定資産		3,411	3,234
自動車事業固定資産		4,409	4,510
観光事業固定資産		28,998	28,371
土地建物事業固定資産		8,634	9,157
各事業関連固定資産		1,936	1,939
その他の固定資産		348	357
建設仮勘定		692	838
投資その他の資産		9,371	7,910
投資有価証券		5,662	5,027
長期貸付金		2,815	1,989
その他の投資等		913	910
貸倒引当金		△20	△16
資産合計		79,805	77,132

科 目	期 別	第112期 (平成25年3月31日現在)	第111期 (平成24年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債		27,853	17,855
短期借入金		21,012	12,604
未払金		2,513	1,832
賞与引当金		53	62
その他の流動負債		4,274	3,356
固定負債		36,463	44,150
長期借入金		30,671	38,043
長期預り保証金		3,420	3,265
その他の固定負債		2,371	2,840
負債合計		64,316	62,005
(純資産の部)			
株主資本		15,125	15,169
資本金		9,126	9,126
資本剰余金		3,400	3,399
利益剰余金		3,804	3,831
自己株式		△1,205	△1,188
評価・換算差額等		363	△42
その他有価証券評価差額金		363	△42
純資産合計		15,488	15,126
負債純資産合計		79,805	77,132

損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第112期	第111期
		(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
鉄道事業			
営業収益		1,347	1,226
営業費		1,219	1,172
営業利益		128	53
自動車事業			
営業収益		1,828	2,608
営業費		1,379	2,086
営業利益		449	521
観光事業			
営業収益		19,229	17,754
営業費		17,587	16,531
営業利益		1,642	1,223
土地建物事業			
営業収益		1,800	1,858
営業費		1,341	1,520
営業利益		459	338
全事業営業利益		2,679	2,136

科 目	期 別	第112期	第111期
		(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業外収益		260	268
営業外費用		1,098	1,156
経常利益		1,840	1,247
特別利益		608	520
特別損失		1,416	812
税引前当期純利益		1,032	955
法人税、住民税及び事業税		591	54
法人税等調整額		△66	339
当期純利益		506	561

株主資本等変動計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本									評価・換算 差額等	純資産 合計			
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計					
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 合計							
当期首残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,651	3,831	△1,188	15,169	△42	15,126		
当期変動額														
剰余金の配当							△534	△534		△534		△534		
当期純利益							506	506		506		506		
自己株式の取得									△18	△18		△18		
自己株式の処分			※	0	※	0			1	1		1		
株主資本以外の項目の 当期の変動額（純額）											406	406		
当期変動額合計	—	—	※	0	※	0	—	—	△27	△27	△17	△44	406	362
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	1,624	3,804	△1,205	15,125	363	15,488		

(注) ※は302千円

会社概況／株式情報



会社概要 (平成25年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15 (1926) 年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成25年3月31日現在)

代表取締役社長	堀内 光雄	取締役	堀内 光一郎	取締役	堀内 哲夫	取締役	福重 隆一	取締役	小泉 孝一	取締役	野山 厚夫	取締役	林宇秋	取締役	山田 譲護	取締役	尾崎 幸成	取締役	堀内 哲夫	取締役	福重 隆一	取締役	小泉 孝一	取締役	野山 厚夫	取締役	林宇秋	取締役	山田 譲護	取締役	尾崎 幸成
---------	-------	-----	--------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-----	-----	-------	-----	-------

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

■発行可能株式総数	331,695,000 株
■発行済株式の総数	109,769,477 株
■株主数	5,724 名

大株主 (平成25年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.09
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.90
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	10,624	9.95
朝日生命保険相互会社	7,650	7.16
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
富士急行株式会社	2,998	2.73
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.39
日野自動車株式会社	2,506	2.35
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.32

連結子会社の状況 (平成25年3月31日現在)

【運輸部門】

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

【レジャー・サービス部門】

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)
- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

【不動産部門】

- (株)富士急リゾートアメニティ

【その他部門】

- (株)富士急百貨店
- 富士急建設(株)
- (株)レゾナント・システムズ
- 富士ミネラルウォーター(株)
- (株)富士急ビジネスサポート

その他7社

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

単元未満株式の買取請求・買増請求について

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【お手続きについて】

■ 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社にお問い合わせください。

ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

■ 証券会社に口座を開設されていない株主様

単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

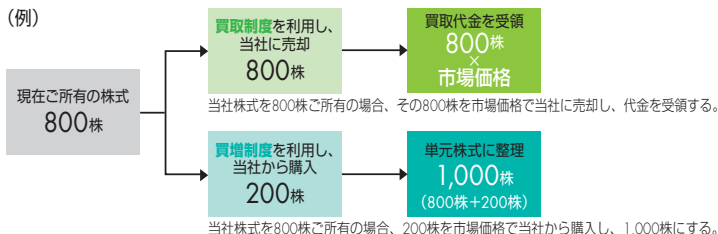
買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

(例)



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



★ 電車・バス・観光施設 共通優待券

ご優待の内容 枚数

- 電車全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車
(1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド
(1枚につき1名入園、5枚につ
きフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ
(1枚につき1名入園、5
枚につきワンデークーポン1
枚と引換)
- さがみ湖リゾート
プレジャーフォレスト
(1枚につき1名入園、5枚につ
きフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti
(5枚につき1日入場滑走
券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場
(5枚につきリフト1日券
または Gondola 往復券1
枚と引換)
- 初島アイランドリゾート
(1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山
ロープウェイ
(1枚につき1名乗車(往
復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊
覧船・本栖湖遊覧船
(1枚につき1名乗船)
- 初島航路
(1枚につき1名乗船(片道)、
2枚につき1名乗船(往復))
- フジヤマミュージアム
(1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉
(2枚につき大人1名入館、
1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり
(2枚につき大人1名入館、
1枚につき小人1名入館)



× 40 枚



× 25 枚



× 15 枚



× 10 枚



× 7 枚

フリーパス引換券

ご優待の内容 枚数

- 遊園地フリーパス
(富士急ハイランド・ぐりんぱ・さが
み湖リゾートプレジ
ャーフォレスト)
- スキー場一日券
(スノータウン
Yeti・あだたら高
原スキー場)



× 6 枚



× 5 枚



× 4 枚



× 3 枚



× 2 枚



× 1 枚

高速バス乗車券

ご優待の内容 枚数

高速バス乗車券*1



× 4 枚



× 2 枚



× 1 枚

●高速バスご利用について*1

高速バス乗車券は、中央高速バス「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、東名高速バス「河口湖～東京・市が尾線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待パス

ご優待の内容 枚数

電車・バス全線
優待パス
(表示された持
参人1名)



× 1 枚

35,000
株以上

20,000
株以上

10,000
株以上

5,000
株以上

3,000
株以上

1,000
株以上



長期保有特別優待券*2

ご優待の内容

枚数



× 3 枚

「ハイランドリゾートホテル&スパ」「ホテルマウント富士」の指定するツインルーム室料100%またはホテル内レストラン利用料30%割引券(3年に1度の発行となります。)



× 2 枚

★ 施設割引券

ご優待の内容

枚数

ハイランドリゾートホテル&スパ	1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	
ホテルマウント富士		
ホテルマウント富士プール割引券	20%割引(1枚につき4名まで)	2 枚
富士宮富士急ホテル		
甲府イーストサイドホテル	2ホテル共通1枚につき1室室料20%または自社企画宿泊商品10%割引	
富士急グループホテル飲食割引券	レストラン・バー10%割引(1枚につき4名まで)、「ホテルマウント富士」では、食事付入浴10%割引(1枚につき4名まで)として利用可。	5 枚
富士ゴルフコース	所定プレー料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)	
ゴルフパークBandi	バック料金から1,000円割引、土日祝日2,000円割引(1枚につき4名まで)	1 枚
大富士ゴルフ場	所定プレー料金から2,000円割引(1枚につき4名まで)	
ふじやま温泉	入館料 平日大人750円 小人400円 土日祝日 大人1,000円 小人500円(1枚につき4名まで)	
さがみ湖温泉 うるり	入館料 平日大人700円 小人350円 土日祝日 大人800円 小人400円	2 枚
PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟(素泊り)10%割引、レストラン「FUJIYAMA KITCHEN」5%割引	
PICA富士吉田・PICA富士西湖・キャンピカ富士ぐりんぱ・パティントンペアカンパングラウンド	1枚につき1泊1室10%割引	
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引(1ケース以上)	1 枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5%割引(1枚につき4名まで)	2 枚
富士急ハイランドボウリング場	平日100円引き 土日祝日200円引き(1枚につき4名まで)	
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃10%割引	1 枚



FujiQ News.5

『電車・バス・観光施設共通優待券』・『施設割引券』に
さがみ湖温泉 うるり
を追加しました!

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じてそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*2

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごとに発行しております。(3年に1度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>